

令和7年度事務事業の事後評価結果と改善策

資料1

令和7年度の事務事業の事後評価結果と改善策について、次のとおり決定します。
ただし、令和9年度以降に行う改善策については、当該年度の予算編成の中で決定します。

1. 令和7年度事後評価概要

令和8年6月から7月にかけて、令和7年度に人件費および事業費等の経費を要した事業のうち、第四次総合計画に位置付けている施策に紐づく事務事業189件について、担当部課による事後評価を行いました。事務事業の評価結果の概要は、次のとおりです。

※令和4年度からスタートした「第四次総合計画」に合わせて事務事業を見直し、細分化していた事務事業を集約しています。（参考：令和3年度事務事業数 941件）

事務事業の総合的な評価	件数
順調	109件
ほぼ順調	77件
順調とはいえない	3件
事後評価実施件数	189件

事後評価における今後の方向性	件数
現状通り推進する	177件
事業内容を見直す	7件
事業を拡大する	4件
事業を縮小する	1件
事後評価実施件数	189件

※総合的な評価と今後の方向性の相関

	現状通り推進する	事業内容を見直す	事業を拡大する	事業を縮小する	計
順調	105	1	3	0	109
ほぼ順調	71	4	1	1	77
順調とはいえない	1	2	0	0	3
計	177	7	4	1	189

2. 事後評価結果に基づく改善の方向性

今後の方向性として、改善を要する(事業内容を見直す・事業を拡大する・事業を縮小する)と評価した事務事業は、次の20件です。

1	事業名	高齢者の生きがいと健康づくり		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	高齢者福祉センターの利用者数は、2施設を統合したことにより減少していますが、一定の利用者がつつじ荘に移行しています。前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があるが、市内の高齢者の年齢構成や60代の就労状況を鑑みれば概ね順調であると考えられます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	高齢者福祉センターの統合は受け入れられつつあるものの、事業と前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があります。高齢者の生きがいと健康づくりのために今後も推進していく必要がありますが、内容等は適宜見直していきます。		

2	事業名	高齢者在宅支援事業		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	後期高齢者の増加などにより要介護認定の状況や生活状況が変化し、目標値に届かないと考えられる事業がありますが、市内の高齢者の年齢構成を鑑みれば概ね順調と考えられます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	前期高齢者が減少し後期高齢者が増加する傾向が続いており、要介護認定の状況や生活状況が変化することに伴い、サービスなどの要望も変化していくと考えられます。高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けるためには必要な事業であり、内容については適宜、見直していきます。		

3	事業名	障害者の社会参加・自立支援		担当部課	健康福祉部 障害者福祉センター
	事務事業の目的・概要	・地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。 ・障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	民間施設と連携を図りながら社会参加支援ができました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を縮小する	令和8年度をもって施設の利用を終了することから、障害者福祉センターで実施している各事業について方針を決定していきます。		

4	事業名	介護保険制度の運営		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	・介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、要支援・要介護者の状態に合わせた認定とサービスの質の向上に努めます。 ・介護保険制度を健全に運営するため、納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、保険料の収納率向上を図ります。			
	事業に対する評価／コメント	順調とはいえない	高齢化の進展により要介護申請から認定まで30日超えてさらに長期化しています。今後市民のサービス利用状況に影響が出ることを防ぐため、手法を見直しつつ迅速な要介護度の認定が出来るようにしていきます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	必要な方に必要な支援を届けられるようにするため、要介護申請から調査、認定までの流れを見直し、より迅速に要介護度の認定が出来るよう進めていきます。		

5	事業名	子ども総合相談の推進		担当部課	子ども部 子ども相談課
	事務事業の目的・概要	虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。			
	事業に対する評価／コメント	順調	LINEによる相談が軌道に乗ったことや、年間相談受付件数が増加したものの、一つひとつの相談に対して丁寧に対応できているため、順調と評価しています。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	こども家庭センターを設置し、児童福祉機能と母子保健機能が連携することで、妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制を整備します。		

6	事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり(住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備)		担当部課	環境経済部 企業立地推進課
	事務事業の目的・概要	・地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。 ・企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。			
	事業に対する評価／コメント	順調とはいえない	事業主体である共同企業体から事業撤退の意向が示され、今後の事業の先行きが見えない状況となりました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	共同企業体と成果物の引渡しを含めた事業終了に向けた協議を進めていくとともに、計画地における盛土層など課題を踏まえながら、新たな活用方法を検討していきます。		

7	事業名	景観まちづくりの普及啓発		担当部課	都市部 都市計画課
	事務事業の目的・概要	景観づくりを進める市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めていきます。			
	事業に対する評価／コメント	順調	景観まちづくりの普及啓発事業について、全ての個別事務事業を概ね問題なく実施し、かつ、「我孫子のいろいろ八景歩き」や「景観まち探検」は参加者から好評であったため、順調と評価しています。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	「我孫子のいろいろ八景歩き」は、10年以上の実施により一定の成果を得ることができたことから、令和8年度からは若年層の景観に対する意識啓発に注力することとし、引き続き市民団体との協働による小学生対象の普及啓発事業「景観まち探検」の定着と充実を図っていきます。		

8	事業名	古利根沼水質汚濁防止		担当部課	環境経済部 手賀沼課
	事務事業の目的・概要	古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていますが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。		

9	事業名	男女共同参画プランの推進		担当部課	市民生活部 市民協働推進課
	事務事業の目的・概要	・性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスを払拭するための情報発信を強化します。 ・性別に関わらず、家事や育児、地域活動に主体的に参画できるよう、社会全体の意識の醸成を図ります。 ・性別に関わらず、被害が潜在化しやすいDVや性被害をはじめ、あらゆる暴力やハラスメントのない社会を目指し、その啓発に取り組みます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	男女共同参画プランに計上した77事業はおおむね順調に進んでいることから、ほぼ順調と評価します。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	男女共同参画情報誌の発行については、これまでの紙媒体からホームページや公式SNS投稿等インターネットでの情報発信に手法を変更します。		

10	事業名	自殺対策事業		担当部課	健康福祉部 社会福祉課
	事務事業の目的・概要	自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。			
	事業に対する評価／コメント	順調	庁内職員や小中学校の教職員を対象に研修を行い、自殺予防に関する知識を高めることができました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	自殺者数を減らすため、新たに自殺対策啓発用ショート動画を作成するなど、活動を強化していきます。		

11	事業名	人材育成の推進		担当部課	企画総務部 人事課
	事務事業の目的・概要	複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めています。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	管理職登用試験の受験者数が前年度に比べ減少したが、職員研修は研修計画のとおり実施し、その受講者数が前年度に比べ増加したことを踏まえ、ほぼ順調と判断しました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	窓口開庁時間短縮の試行運用における課題等の検証を進め、対象施設を拡大を経て、本格実施に努めています。		

12	事業名	ふるさと納税の推進		担当部課	企画総務部 企画政策課
	事務事業の目的・概要	歳入の確保策としてふるさと納税寄附金をより多く募るため、ポータルサイトを効果的に活用するとともに、広報及びシティプロモーションと連動させ情報を発信します。あわせて、寄附受入額の増加に繋がるよう市内事業者と共に魅力ある返礼品の企画・発掘を進めます。			
	事業に対する評価／コメント	順調	現地決済型ふるさと納税の拡充により、寄附額を増加させることができました。また、より戦略的に寄附額を集めるため、新規事業者への訪問やプロポーザルによる中間委託事業者の変更などを行い、事業の活性化を図りました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	返礼品提供に協力する事業者と寄附額増加を目指すと共に、寄附者に対して我孫子市をプロモーションする取り組みも進めます。		